

2023年度 介護老人福祉施設サルビア 事業計画

介護老人福祉施設サルビア
施設長 清澤 秀彦

1. 運営方針

入居者を管理するのではなく、「日常生活の継続」を基本に、入居者の「個性を大切に」しながら、「プライバシーとプライドを守るケア」を行い、入居者が「自分らしく生きること」を支援します。

2. 施設目標及び行動計画

① ご入居者個々の状態に合わせたケアの充実を図る(重点項目3点)

- 日々の状態変化に合わせた柔軟なケア：「1日の行動計画」を毎日作成
- 自然排便を促すケア：浣腸や摘便を減らすケアの実践
- 終末期ケア：人生の最期を自分らしく穏やかに迎えられるためのケアの実践

② ウィズコロナ社会に対応した潤いのある交流方法の構築を行う

- 面会方法、各種催し、ボランティア受け入れ方法等の新たなカタチの構築
- SNSを活用した定期的な生活様子等の発信
- 対面とオンラインのハイブリット型の家族向け勉強会の開催

③ 状態変化に対して質の高いケアで応えるための学びの場、環境整備を行う

- 終末期ケア専門士を中心とした勉強会の実施
- 「認知症ケア専門士」「認知症介護実践者研修修了」「終末期ケア専門士」「口腔機能療法士（口腔ケアマイスター初級）」「ノーリフトケアコーディネーター」「ユニットリーダー研修修了」のいずれかの資格取得の推進の継続（2022～2024年度共通）。
- 5S活動の平準化、ICT活用好事例の共有、重度化に対応できる浴室整備、介護保険制度改正に向けたケアカルテ（記録システム）の整備

3. 年間行事予定

感染予防策を講じながら、以下の行事の再開を目指します。

- ① サルビア祭り（年1回）
- ② 家族会及び家族向け勉強会（年1回）
- ③ ユニット毎の催し（随時）
誕生日会をはじめとする入居者の希望に応じたイベント等
- ④ ボランティアの協力による催し（随時）
サルビアサロン、各種クラブ活動、コンサート、繕い物等
- ⑤ 季節の行事

繭玉作り（1月）、節分（2月）、観桜会（4月）、七夕（8月）、敬老会（9月）、焼き芋会（10月）、クリスマス会（12月）、餅つき（12月）

⑥ 地域交流（交流再開に向けて協議）

梓川氷室地区の児童との交流

梓川小学校PTAとの交流

梓川地区民生児童委員及び梓川地区ボランティアによるボランティア活動

4. 研修予定

① 全体研修、訓練

感染症予防（訓練含む）：2回/年、災害対策（訓練含む）：2回/年、事故対策：概ね1回/月、権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、終末期ケア：1回以上/年、医療的ケア（褥瘡予防、喀痰吸引・胃ろう等）：1回/年、認知症ケア：1回/年、その他：適宜

② 新人教育

採用時研修：座学4日間、介護技術基礎研修2回/年、排泄ケア研修1回/年、チューター制度：1年間

③ 松本地域ユニット型施設交流研修「ほっとケアの会」の再開に向けての検討

ユニットケアを行う施設同士の交流及び合同研修会（岡田の里、ゆめの里朝日、サルビア、他）

④ その他

職員各自の目標に沿った研修への参加（ネット配信研修活用、直接参加、オンライン参加）

以上

2023年度 あんじゅり事業計画

住宅型有料老人ホームあんじゅり/あんじゅり AW

管理者 小澤 倫世

1. 運営方針

ここは安住の里～我が家～そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします。
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします。
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2. 事業所目標及び行動計画

- ① 「わたし」の力を持ち寄って、暮らしの場を作りあげます。
 - ・季節ごとのお楽しみ（毎月1回）を計画的に継続する。
 - ・その日の活動と顔馴染みとの集いを企画していく。交流の場を増やし、笑顔を共有できる暮らしを提供していく。
 - ・地域の中の施設として、興味を持っていただけるような景観作りと情報発信をする。
- ② 気付きに重点を置き、サービスの質の向上を目指します。
 - ・個人の年間目標を明確にし、定期的に達成度の確認を行う事で目標達成をする。
 - ・各種研修の他に法人内（所属外）研修を取り入れる。
 - ・会議のあり方を検討し、積極的に施設運営に参加する雰囲気を作る。
 - ・住まいのサービスの見直しをする。

3. 年間行事予定

- ① 住宅型有料老人ホーム運営懇談会：1/年
- ② 季節ごとの行事
 - 1月繭玉作り 2月豆まき 3月桜もち作り 4月お花見 5月花植え
 - 6月ラベンダースティック作り 7月七夕飾り・紫陽花見学 8月納涼会
 - 9月敬老会 10月ケーキバイキング 11月お寿司会 12月クリスマス会
- ③ 避難訓練：2/年

4. 教育・研修予定

- ① 全体研修
 - 感染症予防：2回/年、災害：2回/年、虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1回/年、苦情：1回/年

- ② 個人研修各々でキャリアパスに沿って個人年間研修計画を作成（4月）
計画に沿って研修を行う。

以上

2023年3月

2023年度 泉の里 事業計画

住宅型有料老人ホーム泉の里/いずみのさと AW
管理者 奥原和幸

1・運営方針

- ・ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと
- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣・食・住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします。

2・事業所目標及び行動計画

- ① 専門的スキルを活かした個別ケアが提供できる
 - ・自らの専門的スキルを活かしたケアが随時提供できるよう、マニュアルの整備、運用を行う。
 - ・記録システムを活用し、情報共有から入居者個々に沿ったケアの提供を行う。
- ② 我が家で最期の瞬間まで安心して暮らすことができる
 - ・多職種連携により看取りケアの充実を図り、最期の瞬間まで自分らしく暮らせるよう安心、安楽な環境を整える。
 - ・終末期ケア専門士の資格取得推進を図り、専門的スキル強化を図る。

3・年間行事予定 *コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて実施

- ① 1回運営懇談会を行い、入居者、ご家族様、民生委員、近隣の方からのご意見を運営に反映させるようにする。
外部ボランティア
- ② 季節の行事
繭玉作り（1月）、繭玉作り（2月）、ひな祭り（3月）、お花見会（4月）、花植 え（5月）、七夕祭り（7月）、夏祭り・スイカ割り（8月）、敬老の日（9月）、ハロウ ィーン（10月）、焼き芋会（11月）、クリスマス会・演奏会（12月）
- ③ 季節ごとの特別メニューの提供
（おやつレク月1回、正月、敬老の日、クリスマス行事食）
季節湯の実施（リンゴ湯、ゆず湯等実施）

避難訓練（年2回）

4・研修予定

① 全体研修

感染対策：2回/年、災害対策：2回/年、虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1回/年、苦情窓口1回/年

その他：認知症基礎教育（4大認知症、周辺症状、接遇等）

② 個人研修

各々で個人研修を作成し、計画に沿って研修を行う。

以上

2023年3月

2023年度 愛香里 事業計画

住宅型有料老人ホーム愛香里/あかりAW
管理者 水谷 奈美江

1. 運営方針

ここは安住の里 ～我が家～ そしてふるさと

- ・我が家のぬくもりをお届けします
- ・衣、食、住の快適さと安心をお届けします
- ・真心のケアで暮らしに笑顔と満足をお届けします

2. 事業所目標及び行動計画

① 入居者、家族が安心できる介護、雰囲気づくり

・利用者の日頃の言動に寄り添い迅速な対応が出来るように関係者との連携を図る。

- ・家族に安心していただけるような接遇
- ・終の棲家と思えるように信頼関係の構築、知識の習得
- ・利用者のモニタリングにより状態にあったサービスを見直して改善していく。

・職員間の情報共有により早期の問題点改善をする。

② 職員研修の充実

- ・外部研修の積極的参加を促す。
- ・興味のある研修、その時施設の課題として必要な研修など情報の発信
- ・毎月の研修報告者を決めヘルパー会議で発表する。
- ・研修の必要性、自己研鑽によりスキルアップに繋げる。

3. 年間行事予定

① 運営懇談会（年1回）

② 避難訓練（年2回）

③ 季節の行事

繭玉作り、書初め（1月）、豆まき（2月）、お花見（4月）、七夕（7月）
スイカ割り、花火鑑賞（8月）、敬老会（9月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）（利用者と一緒に計画、実行などの過程を行う）

その他随時おやつレクレーションを実施（コロナ対策の為利用者参加型はその都度考えていく）

4. 教育・研修予定

① 全体研修

感染症予防：2回/年、虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1回/年

苦情窓口：1回/年、その他：認知症基礎教育（4大認知症、周辺症状、接遇等）

② 個人研修

個人研修計画に沿って参加

キャリアパスに応じて参加

以上

2023年3月

2023年度 千歳緑 事業計画

サービス付き高齢者向け住宅千歳緑/ちとせみどり AW
管理者 北澤 知美

1・運営方針

わたしらしく、いつまでも

- ・安心した暮らしができる環境を作ります
- ・住み慣れた地域で暮らすことができる支援をします
- ・生きがいを持ち続けることができる支援をします

2・事業所目標及び行動計画

- ① 楽しく気持ち良く過ごしていただけるサービスの提供
 - ・季節の行事、入居者様の希望に合わせたイベントの実施
 - ・アセスメントの実施
 - ・居室キッチンの活用
 - ・整理整頓に心がけ清潔な環境をつくる
- ② いちばんに選ばれる施設を目指す
 - ・研修を含め接遇マナーを身につける
 - ・認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修に1名以上受講し、その他の
認知症研修にも全員が受講して理解に努める
 - ・個々のスキルアップ向上のため、目標を持ち資格取得を目指す
 - ・地域住民との関わりも考え施設外への訪問介護を維持していく（3～4名）
 - ・中重度の方にも対応ができるように喀痰吸引の取得（1～2名）

3・年間行事予定

- ① 運営懇談会（年1回）
- ② 避難訓練（年2回）
- ③ 季節の行事（年8～10回）

4・教育、研修予定

- ① 全体研修
感染予防：2回/年、虐待防止・身体拘束廃止：2回/年、認知症ケア：1

回/年

苦情窓口：1回/年

その他：認知症基礎教育（4大認知症、周辺症状、接遇等）

② 個人研修

個人研修計画に沿って参加

キャリアパスに応じて参加

以上

2023 年 3 月

2023 年度 グループホームサルビア 事業計画

グループホームサルビア
管理者 西澤 守隆

1. 運営方針

地域資源を利用し地域との連携を図りながら、馴染みの関係の中で、自分の役割や居場所があり、我がままに暮らせ、自分が必要とする時にそばに必ず心を寄せてくれる人がいて、その関わりが「申し訳ない」と感じさせない暮らしを共にします。

2. 事業所目標及び行動計画

- ①おたっしやカフェ、運営推進会議の再開
 - ・おたっしやカフェの内容を検討し、再開していく。
 - ・運営推進会議の実施。
- ②外部研修への参加
 - ・キャリアパスに応じた研修への参加をアプローチしていく。
 - ・研修案内を活用し、職員の研修参加への支援を行っていく。
- ③認知症の人の思いに共感できる職員育成
 - ・入居者のできそうなことを探っていき、一緒におこなっていく。
 - ・職員は一人ですべて行うのではなく、一緒に行うという意識を持ちながら業務を行っていく。
 - ・認知症に関する動画等を用いて勉強会の実施。

3. 年間行事予定 ※コロナの状況により開催の判断とする

- ① 運営推進会議 年 6 回 (2 か月に 1 回)
- ② おたっしやカフェ 毎月第 1 金曜日
- ③ 絵手紙 毎月第 4 土曜日
- ④ 家族会 年 2 回
- ⑤ カレー会、サルビア祭り(9 月第 1 土曜日)
- ⑥ 避難訓練 年 2 回
- ⑦ お花見、バラ園見学、紅葉狩り
- ⑧ 入居者お楽しみ会 月 1 回

4. 教育・研修予定

- ① 事業所内研修
感染対策研修、災害(火災・水害等)身体拘束廃止・虐待防止研修:各 2 回/年

認知症研修、事故対策、その他研修

② 外部研修

・認知症介護実践者研修

・長野県宅老所・グループホーム連絡会主催の研修 等

以上

2023年3月

2023年度 居宅介護支援事業所サルビア 事業計画

居宅介護支援事業所サルビア
管理者 船坂 菜津子

1. 運営方針

利用者の尊厳を尊重します。

利用者が自由にサービスを利用出来るようにお手伝いします。

思いやりの心を持った介護支援専門員を目指します。

2. 事業所目標及び行動計画

特定事業所として運営基準を遵守し、質の高いケアマネジメントを行うとともに、

地域の方の相談窓口となる。

① ケアマネジメントの質の向上

1) 事業所内勉強会、事例検討、3事業所合同勉強会の実施

2) 新型コロナウイルスや自然災害等による生活環境の変化に対応した支援を行う。

3) 事業所内でケアプラン勉強会、ケアプラン点検の実施

② 安定した事業所の運営

1) よりみちの行事やおたっしゅカフェに合わせた地域の相談窓口の開設で、

身近な相談窓口の存在をアピールする。

2) 介護者向けの認知症勉強会の開催

3) 事業継続計画を理解し、新型コロナウイルスや自然災害に備える。

4) ICTの活用

3. 年間行事予定

事業所の更新（6月）

介護支援専門員会議（毎週火曜日）

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修（3事業所合同勉強会）

在宅でのターミナルケア

認知症勉強会

事例検討会

- ケアプラン勉強会
- ② 外部研修・勉強会
 - 他法人との事例検討会等
 - ケアマネ勉強会（ケアマネなんでも相談会）（毎月）
 - 地域包括支援センター主催の勉強会
 - オンライン研修
 - その他随時参加

以上

2023 年 3 月

2023 年度 ヘルパーステーションサルビア 事業計画

ヘルパーステーションサルビア
管理者 岩岡 由香利

1. 運営方針

その人がその人らしく、安心して住み慣れた家で、自立した生活ができるよう、笑顔と思いやりの心をもって支援します。

2. 事業所目標及び行動計画

① 住み慣れた地域で在宅生活を継続する為の支援

- ・生活の気づきのアンテナを高める
- ・新型コロナウイルスによる生活環境の変化による困りごとをキャッチしてケアマネと連携を図る
- ・家族介護の負担軽減(ストレス軽減)の担い手になる

② 安定した事業所の運営を目指す

- ・居宅介護支援事業所にサービスの空き情報を定期的にする
- ・長年、培った介護技術を生かしたケアができる事業所として発信する
 - ・毎日身体介護でサービスに入る方を4名は確保していく
 - ・職員が気持ち良く働ける職場環境を作り、職員の定着に繋げていく
 - ・研修に参加して職員の資質向上を目指す

3. 年間行事

- ・月1回のヘルパー会議

4. 教育・研修予定

① 事業所内研修

在宅でのターミナルケア、認知症の勉強会 3事業所の合同勉強会(居宅、さんぽみち)

② 全体研修

感染症予防、身体拘束廃止、虐待防止、認知症ケア:各1回/年

③ 外部研修

サービス提供責任者研修(1名)、個人研修計画に沿って参加、キャリアパスに応じて参加

以上

2023年 3月

2023年度 デイサービス美事 事業計画

デイサービス美事
管理者 深沢 育子

1. 運営方針

ピンピンきらり わたしらしく、いつまでも

- ①自分のしたいことのできる支援をします。
- ②自分で選べる支援をします。
- ③自分らしい体づくりの支援をします。

2. 事業所目標及び行動計画

～利用者も職員もわたしらしくいつまでも

生きがい、やりがいを持つことができる～

① 安定した運営ができる。

- ・一日平均利用者数29名以上を目指す。
- ・継続的な新規利用者の確保、また新規利用者の受け入れ体制の見直し。
- ・キャンセル要因の分析、対策を検討する。
- ・ターゲット層の見直し。
(介護度3以上の利用者の受け入れについて現場の体制づくり)
(個別機能訓練体制の見直し)
(事例紹介などを作成し、ケアマネへ営業)
- ・LIFEの運用準備。
- ・電気、水道、物品(材料)購入など、節約の意識を持ち工夫していく。

② 地域と繋がりを持つ活動に利用者、職員ともに参加できる。

- ・ゆめひろば庄内や外部との交流機会を増やしていく。
- ・ボランティアの受け入れを継続する。
- ・外出や運動プログラムに力を入れていく。
- ・地域の行事等に積極的に参加していく。
- ・庄内地区の方々の意見を聞きながら、美事が地域に貢献できることを探す。

③ わたしらしく働ける職場づくりができる。

- ・長期休暇が取得できる体制作りを行う。
- ・業務の効率化や精神的負担の軽減が図れるよう、職種ごと自主的に業務内容を見直し
業務改善に取り組む。

- ・活用できるマニュアルを作る。
- ・一人一人が役割を持ち、やりがいを感じることができるよう目標管理を行う。
- ・研修参加率を増やす。(業務内で研修に参加できる体制を作る)

3. 年間行事予定

① 季節の行事

繭玉作り／節分イベント／ひな祭り行事食／お花見送迎／畑作り／七夕飾り／
収穫野菜での昼食／干し柿作り／餅つき／しめ縄づくり／初夢ジャンボずー
らくじ

② ボランティアによる行事

コンサート／しめ縄作り／アロマハンドマッサージ／ワークショップ

③ その他

イベントお菓子・パン教室／料理教室／筑摩児童センターとの交流
／ゆめひろば庄内への作品展示／外出プログラムの実施／運動プログラムの

実施

- ・避難訓練(年二回、水害含む)…地域住民の参加を検討
- ・学生ボランティア／職業体験受け入れ
- ・庄内地区行事への参加(清掃活動、研修参加)

4. 教育・研修予定

① 全体研修、訓練

感染症予防(訓練含む)…2回／年
虐待防止、身体拘束廃止…2回／年

② 内部研修

感染対策…2回／年
PTによる研修…1回／年
認知症研修…1回／年
災害対策(訓練含む)…2回／年

③ 法人内研修

新人研修
随時

④ その他

- ・庄内地区まちづくり協議会への参加
- ・各職員2回／以上の研修参加(オンライン含む)

以上

2023年度 保育所さるびあ 事業計画

保育所さるびあ
園長 小岩井 綾

1 運営方針

「一人ひとりが健康で安全に過ごし元気に遊べる子どもの育成」

- ・子どもたちが笑顔で元気にのびのびと安心できる保育を提供します。
- ・そのらしさを大切にしながら個々の成長を支援し、園児、保護者と保育士が信頼関係を持ち、子育て期に安心して預けていただける保育園を目指します。

2 保育園目標及び行動計画

“笑顔で元気にのびのびと” よく食べよく寝て元気よく遊ぶ

- ① 保育所さるびあの特徴を活かした保育をする
 - ・散歩や戸外遊びなど、豊かな自然に触れて遊べるようにする。
 - ・季節を感じられるような、歌や手遊び、体操、絵本などを取り入れる。
 - ・少人数での保育のよさを活かし、子ども同士が刺激を受け合いながら互いに育ち合える保育環境を整えていく。
 - ・年間指導計画、月案、個別指導計画を作成し、今の子どもの様子を捉えながら、様々な経験ができるような活動を考える。
 - ・特養やグループホームの入居者さんとの交流の機会を設ける。
- ② 保護者の方に安心して預けていただける保育園を目指す
 - ・毎日の連絡ノートのやりとりや毎月の園だよりの発行を通し、子どもの園での様子を家庭に知らせていく。
 - ・季節ごとの写真注文。
 - ・年2回の保育参観を行う。
 - ・インスタを活用し、在園児だけでなく、多くの方に園の良さ、存在をアピールする。
 - ・安心安全な保育ができているか、日々見直しを行う。
- ③ 保育士の質の向上に努める
 - ・全職員が企業主導型保育所としての役割を理解する。
 - ・職員会などを定期的に行い、保育士の保育観のすり合わせをし、互いの

良さを活かしながらも方向性を同じにしていく。

- ・研修に積極的に参加し、職員会などで、フィードバックすることにより、子どもたちにとってより良い保育環境を整える。

3、年間行事予定

① 季節の行事

お花見、プール遊び、サルビア祭り参加、焼き芋、クリスマス会、おもちつき参加、豆まき

② その他

保育参観 (年2回)

避難訓練 (毎月実施)

不審者対応訓練 (年2回)

身体測定 (毎月実施)

内科検診 (年2回)

歯科検診

誕生日会

サルビア交流会 (月1回程度)

4、職員研修

- ・保育安全研修
- ・施設長研修
- ・3歳未満児担当保育士研修
- ・保育士等キャリアアップ研修
- ・法人研修

など

以上

2022. 3月

2023年度 社会福祉法人梓の郷 経営管理部 事業計画

経営管理課長 高橋 健太
経営企画室長 高橋 優喜

1 運営方針

適正な人員配置と組織機能の充実化を進めます。

2 部署目標及び行動計画

職員の働きやすさ、働きがいに繋がる職場環境の整備と人材育成を目指します。

(1) キャリアパスとそれに連動した研修計画の立案と運用

- ① 個々の等級、役職に応じた研修の整備と案内
- ② 定期人事異動をおこなうための計画的な人材育成制度の作成・運用

(2) 人材確保に向けた取り組み

- ① ハローワーク、教育機関等との連携強化
- ② 多様な働き方に対応できる環境の整備
- ③ 様々な認証制度を取得することで、職員の働きやすさと法人イメージUPにつなげる
- ④ 他業種・他学部からの人材獲得に向け SNS 等による情報発信の強化

(3) 持続可能な法人運営のための取り組み

- ① 経費削減及び費用対効果を念頭に、適切な外部委託の推進
- ② 外部環境の変化に左右されにくい収入源の確保

(4) 地域の福祉課題解決に向けた新規事業の検討

(5) 経営管理部内業務体制の見直し

- ① 業務に必要なスキル向上のための研修受講の推進
- ② 担当分野制の撤廃と業務分担のフラット化

以上